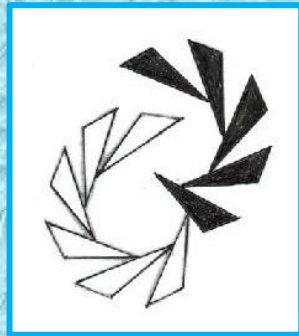


私の水物語・30年



高瀬一郎

水に魅せられて 30 年

私の水にかける思いは、かれこれ 30 年になります。

当初は、水に溶解している微量元素のイオン化現象で変わるアルカリ化や酸性化に始まり、いろんな機能を持つ水との出会いを重ねながら、ナノバブル水まで到達しました。

しかし、今、思えば、50 歳代に働いた自動車メーカーのメンテナンス会社・所長時代に学んだ水処理の経験が基盤になっているようです。酸洗い、前処理、水質調整・排水・廃油処理など、多くのことを学びました。

特に、工場の研究技師さん達との交わりは、眼から鱗のようなことばかり、そこで学んだ開発の発想プロセスには必ず水問題がありました。

また、平成10年からの10年間は、微細気泡（マイクロ・ナノバブル）のことで知己のベンチャー企業に勤務し、農業、水産、畜産、食品加工、洗浄、水環境、医療分野など、多くの新技術開発と現場体験に恵まれ、水との関わりをより一層深めること出来ました。

水には記憶する力がある

私には、30年間の水に対する深い思い入れの中で、常に、心の中を揺さぶり続けてきた大きな研究テーマがあります。

それは『水には記憶する力がある』という生涯かけての謎解きです。拙著『パワーアップの秘訣』や、ホームページでご紹介してきたサイクリックパワーも要約すれば、その実証実験の一端かもしれません。

水をエネルギー波動の媒体、あるいは、電気を通す導電物質のように見立てて、いろんな仮説の実証テストを重ねた結果、すべてのことが仮説通りの答えを出したから不思議です。

水をただ単に無機質の液体として接している人たちには、到底計り知れない・・・奥深いものが潜んでいそうです。

例えば、固体として光を放つ金属も、イオン化して水に溶けた場合、水は透明になります。映画のタイトルにもなった透明人間みたいに、水素と酸素の化合物に思われている水には、まだ、現在の科学では、十分に解明され尽くされていない謎があります。水の記憶もその一つです。

水のもともとのカタチってどんな形？

最初に人工衛星アポロ 8 号から届いた青い地球の映像には、何か・・・
今までの感覚を超えた不思議な感動に満ちた意識が働きました。

そしてさらに、日本人・宇宙飛行士、毛利衛さんの講演を熊本で拝聴
したときのショッキングなひと言も、忘れられない水の思い出です。

毛利さんは話の中で『水のもともとのカタチってどんな形ですか』
と質問され、みんなが返答に迷っていると、次のように続けられました。

水の入ったコップ片手に『床にこぼした水は、このように平らな形に
なりますが、コップに入っている水は、円筒形ですね。しかし、重力の
ない宇宙空間では、水の表面張力が働き丸く球体になります』と。

水銀が球体になることは、理科の実験などで想像できたが、水がそう
なるとは、次元の違いを改めて悟った瞬間でした。

以来、水に対する見方が変わり、生涯の研究テーマとして《水の不
思議な謎》を追い続けることになりました。

自然の恩恵を考える

今、太陽がこの世から無くなったら、時間的にどれくらい生きられるでしょうか。実は、3秒で即死となるそうです。

宇宙の平均温度・ -270°C を考えた場合、如何に人間の精密な体温調節機能をもってしても、気道も血液も、何もかも、アッという間に凍りついてしまいます。呼吸も代謝も寸時に止まるはずです。

次に、空気中の酸素がなくなったら・・・超人的な人は別として、大抵の人は、3分で脳細胞は機能しなくなり一巻の終わりです。

ところで、水が無くなったらどうでしょうか、3日で20%以上の脱水状態となり、体温調節もできず代謝不全でお陀仏間違いなしです。

食べるものは無くても、水さえあれば最高30日間程度、生き延びた事例は数多くあります。

山岳遭難や、海難事故で奇跡の生還をした人たちが、自分の尿を飲んで給水したなど、壮絶な体験談があるのも肯ける話です。

水なしでは生きられない

太陽がなければ、平均温度約 -270°C の宇宙界では、生物は何にも活動できない極寒・死の世界となります。

しかし、太陽さえあれば、光のない環境でも生物は死に絶えることはありません。洞窟の中でも、深海の光なき海底でも生命体の存在は、必ず確認されています。

ところで、空気が無かったらどうでしょうか。

微生物には、空気を好まない嫌気性微生物という菌があるように、生存OKです。以前、死亡者まで出た食中毒事件に、熊本名物の『からし蓮根』がありました。これは、真空パックの中でも増殖する猛毒の嫌気性菌・ポツリヌス菌が原因でした。

それでも、水無しで生き続けられる生物はありません。

人間は勿論、動物、植物、魚介類、微生物まで水は生命維持の根幹です。水は、液体・気体・固体と三態変化をしながら、すべての生き物を支えて続けているのです。



熊本県ホテルを育てる会 水環境復元運動に参画



河川水質浄化

「熊本県ホタルを育てる会」では、自然の仕組みと水の大切さをホタルの長い水棲生活を通じて学びました。

なかでも、源氏ホタルの生態は興味深く、水中の卵や幼虫時代も蛍光を発しているのにはビックリです。早春・水温と気温が同じになる小雨時・幼虫は蛹（サナギ）になるため水中から光りながら上陸してきます。その光景に出会うのは極めてラッキーな出来事。さらに、ホタルの素晴らしい予知能力にはもっと驚かされました。初夏、蛹から羽化し、2週間ほどの乱舞の末、ホタルは、交尾のあと産卵するのですが、その産み付ける位置が面白いのです。水辺近くの場合は、降雨の少ない梅雨になるようで干ばつを予期して昔のお百姓さんは田植えを急いだらしい。また、川の土手の上部に産卵するときは、降雨量の多い夏が到来するとか、特に、水害対策を急いで準備したらしいのです。

同じように蜂の巣造りにも似たような話があります。樹木の下側に巣を掛ける時は、台風が多い年回りとか。昆虫の予知能力の凄さは・どこから来るのでしょうか。この世には、人間の知らない謎がまだいっぱい隠されているようです。

地球は水球体だった

宇宙から地球が眺められるようになった昨今、私たちは、地球がきれいな水の惑星として水球体であることに何の疑いも持たなくなりました。

ところで、その地球の水が今どうなっているか、お考えになったことがありますか。現在の化石燃料の争奪戦から、今や、水をめぐっての争いごとが起り始めています。

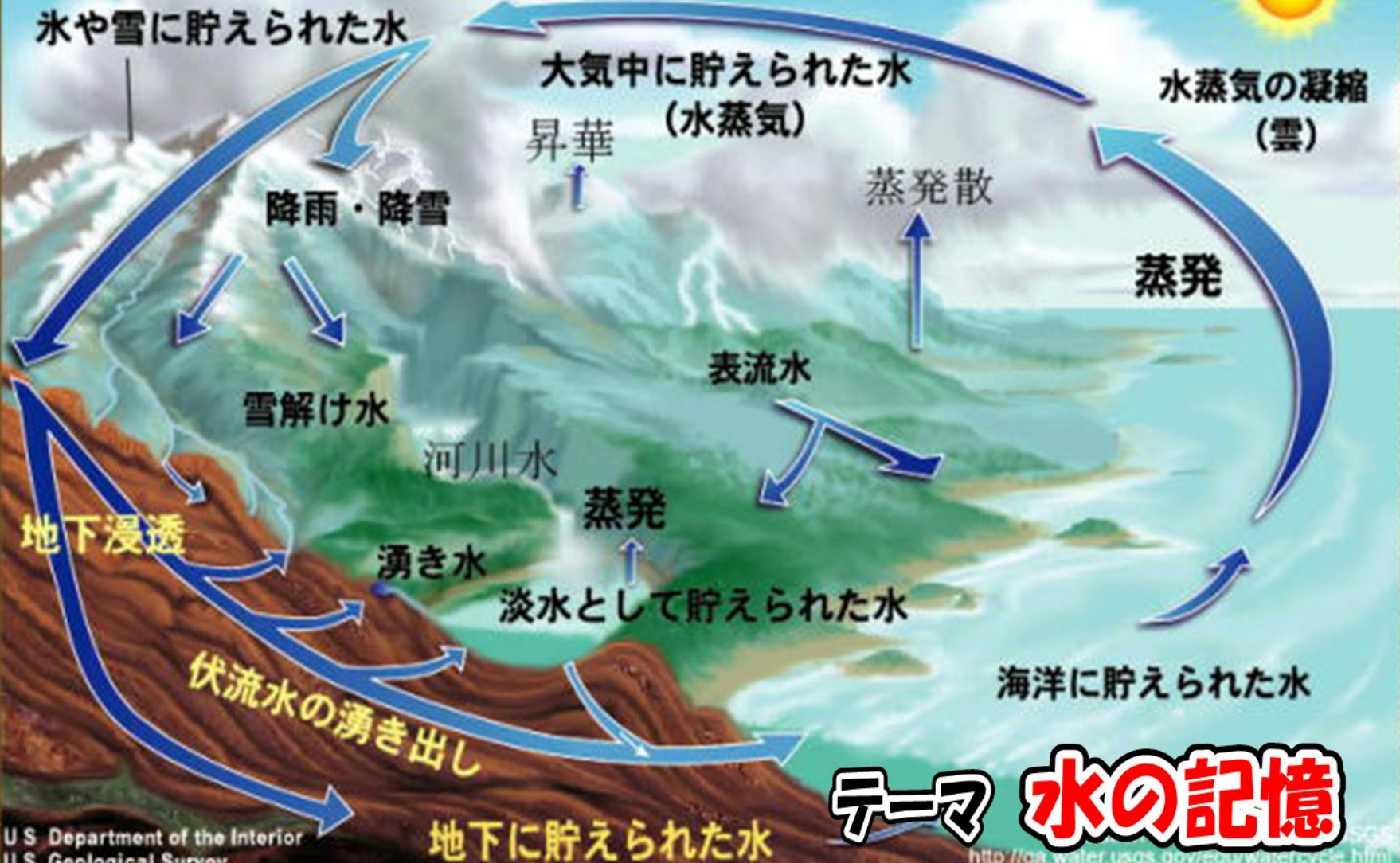
熱帯雨林の伐採、砂漠化の侵食拡大を懸念する報道も多くなり、世界的水不足も深刻になってきたようです。

さて・・・そこで、この水の惑星の水は、今、本当に減り続けているのでしょうか。答えは『ノー』です。

地球に引力がある限り・・・水は一滴の増加も減少もないそうです。

ただ、水は、液体、固体、気体の三態変化をしながら、その居場所を変えているだけなのです。山林が減れば地下の保水力が悪くなり、温暖化が続けば南極の氷が解けるし、最終的に海面の水位上昇へと移行し、真水が減ることになります。

水の大循環図



テーマ 水の記憶

科学では未解明の水

いよいよ本題の『水の話』を進めていきたいと思えます。

よく水は環境問題と絡んで、市民運動・行政機関・学者・マスコミなどの取材や研究テーマとなり、世間のニュースや話題になっています。

しかし、無色透明な海水の中に『有機水銀』が潜み、水俣病という大公害事件が発生したように水は単純なものではありません。まだ、現代科学では十分に解明されていない未知の液体と言えます。

また、昔から水は、宗教上の儀式にも重用され、聖霊のみそぎの水としても重要で、神秘と謎に包まれた複雑系の液体と言えます。

いつでも、どこでも、澄み切ってさえいれば同じ水のように見えますが、水質は決して同じではありません。例えば、水道水ひとつとっても、蛇口を捻ってすぐの水と、出し続けた後の水では塩素濃度も大きく変わります。出せば出すほど、本管近くの水となり残留塩素が濃くなります。

また、地下水=良い水、この考えもとんだ思い違いです。河川・湖沼・雨水についても知られてないことが一杯の水事情です。

農業用水の現状と分類

- 雨水 = 河川の少ない沖縄などは雨水を地下槽に溜めて利用する当初、溶存酸素が多いが劣化が早く酸欠。微量要素不足
- 河川・湖沼 = 上流域は綺麗でも下流は浄化能力不足。湖沼は富栄養化植物プランクトンの屍骸で泥土化。透水性・浸透力悪化
- 地下水 = 上流域の深井戸はミネラル分豊富でも溶存酸素が少ない都市部の浅井戸は細菌が多く、下流域の井戸は窒素過多
- 水道水 = 水源の良し悪しで水質バラツキ。塩素の害はよく知られているが、凝集剤・中和剤の影響は不明な人が多い。



農業用水のお話 ①

雨 水

酸性雨・黄砂
微量元素不足
溜め水劣化

降り始めの雨は排ガス等で酸性雨、作物には有害
溜めた雨水は酸素不足で弱アルカリに中和が必要

雨水は蒸留水と似て作物に必要な微量元素が不足
完全溶解・イオン化液肥のミネラル補給が不可欠

雨水は空中の酸素をとり込んでくるが貯水槽で劣化し酸欠状態、根の繁茂不足・好気性微生物死滅

農業用水のお話 ②

河川・湖沼

濁水・汚染
透水性不足
浸透力低下

天候異変による水質の汚濁
各種流入水による汚染悪化
季節変動による植物プラン
トンの発生・死滅・汚泥化

降雨後の濁水は灌水チュー
ブの目詰まり、土壌への透
水性不足で根の繁茂が悪く
成長力も鈍り、樹勢が衰退

水質の安定しない河川・湖
沼水は農作物への水揚げも
悪く、肥料・養分の分解・
浸透力低下で栄養成長悪化

農業用水のお話 ③

地下水

溶存酸素欠乏
過剰含有金属
年間水温安定

深井戸の地下水は酸素欠乏
30米⇒20%・100米⇒80%減
海岸の干拓農地は酸素不足
善玉微生物不活で土地疲弊

土壌の成分をしっかりと分析
鉄分やマンガンの多い土壌
は酸素泥棒がいるに等しく、
地下水の酸欠に要注意

地下水は12~16°Cで年間水温
が安定、高温の夏・低温の
冬には重宝、但し、春・秋の
農作物には低水温に要注意

農業用水のお話 ④

水道水

残留塩素害
PH調整剤
コストUP

水道水には0.1 ppm以上の残留塩素があり、有害微生物を殺菌するが、蛋白質やビタミンCなども破壊する

PH調整剤として使用されている水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)などの中和剤についての影響は公表ナシ

水道水は浄水場の攪拌と通水過程で溶存酸素は高いが水道料金の負担が大きく、経済的に収益性を圧迫する

名水は美人の産地？

よく名水の里にまつわる伝説として『その昔、ここの水で小野の小町が顔を洗った…』とか、美人と名水を結びつけた伝説がありますが、答えは『ノー』です。何故ならば、人間の体液はP h7.4程度の弱アルカリ性ですが、人間の皮膚の状態は弱酸性です。

皮膚のP hは、男性=5.5~6.5 女性=5.0~6.0 女性の方がより脂肪体質で酸性度が高いのです。(約5倍)

飲料に適した安心・安全、健康によい名水は、大ていP hが弱アルカリ性の水質の場合が多く、肌によいはずがないのです。

わが郷土・熊本は水の都。地下水100%の弱アルカリ性の水道水に恵まれています。そして、美人が多いと評判の街ですが、意外と肌にトラブルを抱えた女性が多いようです。皮膚科も繁盛しています。

北国の女性が透き通るように肌が美しいのは、寒く紫外線が少ないばかりではないのです。水質が弱酸性のお蔭とも言えます。

山形を流れる最上川もP h5.6くらいの弱酸性とか、納得です。

水の体内での滞留時間

今、ここに一杯のコップの水を飲んだとします。

さて、この水は、時間的にどのくらい経過したら体外に排泄されると思われますか。私みたいにビール好きなのは、大抵、1時間とか短い時間を答えますが、4～5時間位の返答が多いようです。

しかし、実際には12日～20日が正解です。例えば、体重 60kg の人の場合、その 65 %が水分としますと、その水の重さは 39kg (39L) です。平均的人間の水分補給と排泄が1日当たり2.5Lとした場合には15.6日で入れ替わる勘定になります。

ビールをジョッキで傾けていると、その内、トイレタイムが早くなりますが、これは人間の保水能力が飽和点を越えた現象を意味し、45分間隔くらいで排尿を催してきます。

腎臓でろ過される水処理が1日・約170Lという仕組みを考えた場合、人間の水に対するリサイクル機能は凄いものがあります。

それだけに私は、ここ30年、毎日、良い水を摂取し続けています。

美味しい水と良い水の違い

私たちが住む熊本市の水道水は、地下水100%の美味しい水です。

それだけに地下水＝良い水という誇りと思い込みがあります。

しかし、地下水が本当に安全・安心、健康に良い水か？ 必ずしも、そう・・・とばかりは言えません。クエッションマークが付きます。

目に見える河川・湖沼水の汚染は、すぐ警戒できますが、地下水は全く無頓着、無防備で危機意識に乏しいようです。

工場廃水・畜産糞尿・農業灌漑水・生活排水などの地下浸透で、今や、地下水の水質悪化は想像をはるかに超えた状態になっています。

■ 美味しい水

硬度＝50～100PPM・温度＝10℃前後
炭酸ガス含有・異味異臭なし

■ 良い水の条件

溶解力が高い・通電力がある・熱伝導がよい
浸透圧が高い・酸素を運ぶ力が大きい

水の機能性と効用

- **溶解力が強い水** 調味料の効きがよい、肥料も、豆腐造りのニガリの溶けもよく、洗剤も節約可
- **通電性が良い水** 微量元素含有の水は通電性が良く、健康維持に大切なミネラルの働きを良くする
- **熱伝導が良い水** 炊飯・料理のほか、冷暖房などの熱カロリ一変換には、省エネルギー効果がある
- **浸透圧が高い水** 植物の吸水効果が良いので農作物も良く育つ・昆布・鰹・椎茸のダシもよく出る
- **酸素をよく運ぶ水** 呼吸を通じて循環する酸素の力で栄養素が燃焼し、細胞が活性化する元気の源

水が地球上唯一・永遠の生命体

私が、水の不思議な機能にはまり込んだのは約 30 年前。
水は、普段は液体として認識されていますが、零度以下になれば氷となるし、沸騰すれば気化し水蒸気となります。

このように、水は液体・気体・固体の三態変化を続けながら、我々人間にその機能で恩恵をもたらしてきました。しかし、その水の機能も認識の範囲は、ほんの僅かな部分にしか思えないのです。

水の移動範囲は広く、大気圏は勿論のこと、地中に存在したり、地上の山々・森林・草木・農作物や、人間・動・植物の中で絶え間なく動き、それらの生存に深く関わってきました。

水の機能性とその働きなくして、命あるすべてのものがこの世に形を成すことは出来ないのです。それでも水は、永遠に陰の力として自己主張することもなく、生き物を支え続けているのです。

そのメカニズムをよく考えると、地球上では、水が唯一・永遠の生命体、いや、万物の神にも準えることが出来そうです。（あくまでも私見）

水を通じて輪廻転生を考える

私は、水の三態変化の仕組みを見て、水には、過去のあらゆる循環の事象・歴史が記録温存されているような気がしてならないのです。

仏教の輪廻転生、霊不滅説も、水そのものを理解することによって、初めてそのナゾが解けます。神聖な昇天という言葉も、死後の火葬による気化蒸発、雲になる様を見れば重なる部分が多く、人体が完全に燃焼気化した場合、約1243倍の水蒸気と化す様も驚異です。

そして、何れは雲となり、雨を降らせ、草の根、野菜、木の実、穀物、動物、人間へと水は循環される営み。正しく輪廻転生のシステムそのものと言えます。加えて、そこに水の記憶が循環しているのであれば、霊不滅の証明にもなるわけですが、今のところ判らない。

有名な『前世を記憶する子供たち』という翻訳本も話題になっていますが、最近日本でも、産婦人科医のなかに出産前の記憶を語る子供たちの話を克明に収録している医師がいるとか、興味ある話です。

水分を媒体としたエネルギー転換

水に関するお話が続けてきましたが、少しは、お役に立つ項目があったでしょうか。いや、なかには、眉唾気味にお読み頂いた方もおられたかと思いますが、殆んどは、私流（仮説）に立証できる話ばかりです。

皆様も心の中ではお感じのように、世の中すべて常識通りに物事が動いてはいません。その枠からはみ出た新発見が次の時代の価値を生み出し、人間の幸せに貢献できるのです。

私が、ホームページでご紹介しているサイクリックパワーと命名した『パワーアップの秘訣』も、すべて、水、湿気など、水分の持つ媒体的機能、または、意思・記憶（仮説？）に働きかけるエネルギー（波動）転換の事実記録です。

皆さんもどうか、否定から入らずに・・・真っ白な紙に素直に絵を写し取るような気持ちで各テーマについて、オーリングテストなどでご検証・ご確認してみてください。人生が楽しくなりますよ。（笑）



ご質問はどうぞ遠慮なく
何でもお尋ねください。

Ichiro Takase